

令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	31
学校名	富山県立福岡高等学校

学校の現状と課題	本校は、県内唯一の英語コースを有する普通科単独校であり、英語セミナー、英語講演会、英語スピーチコンテスト、海外語学研修、オンライン研修などの語学教育と国際理解教育に積極的に取り組んでいる。生徒が「英語を使いたい」「使う必要がある」と強く感じる仕掛けを数多く設定することで、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。今後も国際社会で活躍するグローバル人材の育成のために、英語コースだけではなく、全生徒が主体的に考え、自分の意見を堂々と主張したり、討議したりできる力を育成していくことが課題である。	
テーマ(特色)	自らの意見や考えを発信できるグローバル人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	米国パデュー大学とのオンライン授業による海外の大学生との交流や、体験学習としての英語セミナー、発信力を高めるスピーチコンテストなどを通して、グローバル人材としての能力を育成した。また、3月に行われる英国語学研修では、単に語学を習得するだけでなく、ホームステイをすることによって英国の文化、習慣、価値観等の触れ、視野を広げてグローバルな視点を持つ契機になると思われる。	
実施内容 (具体的に記入する)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語セミナーでは、様々な文化的背景を持つ外国人指導助手によるワークショップを通して、英語コミュニケーション能力を高めるとともに、同じ英語圏でも異なる国々出身の外国人指導助手らと交流することで、異文化理解を深め、視野を広げることができた。 ・校内英語スピーチコンテストは今年で30回目となった。2学年、3学年の英語コースの予選を勝ち抜いた14名が、自らの体験や意見をジェスチャーを交えながら堂々と発表した。かなり長い英語の原稿をすべて暗記し、聞き手に伝わるようにテンポや間、抑揚にも工夫を凝らした。1年生全員が会場で決勝進出者たちの熱のこもったスピーチを聴き、そのレベルの高さに強い感銘を受けるとともに、さらに英語力を高めようという強い動機づけとなった。 ・2学年英語コースの国内英語研修プログラムでは、トップレベルの大学で学ぶ様々な国籍の外国人留学生、外国人講師との交流をおし、英語をツールとして使うことで英語圏以外の人々ともコミュニケーションが可能だということを実体験をおして学んだ。また、グローバルな視点や思考、積極的に意見を主張することの大切さを学び、大いに刺激を受けた。 ・米国パデュー大学とのオンライン授業では、大学生とオンラインを通して実践的な英会話能力を高めた。 	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より縮小していた多くの学校行事を再開することができた。そして、とやまの新時代プロジェクト学習をおとして、生徒の英語学習への意欲を刺激し、高めるような活動も数多く再開することができた。コロナ前と同様に、英語をコミュニケーションのツールとして使う機会を多く持つことができた1年だった。 ・米国パデュー大学とのオンライン授業により、積極的に英語で会話しようとする姿が見受けられた。大学生はALTと違い会話が早いので、最初は理解できず戸惑っていたが、徐々に慣れていった。リスニング能力も高まった。 	
対象者(学年・人数など)	1学年120名、2学年英語コースを含む120名、3学年英語コースを含む115名	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	英語セミナー(2学年英語コース)
	8月	校内英語スピーチコンテスト(1学年全員、2、3学年英語コース) オープンハイスクールで英語コース特別教室
	9月	地域の祭礼の英語紹介
	10月	米国パデュー大学とのオンライン授業
	11月	米国パデュー大学とのオンライン授業、英語講演会 Frontline English I II の授業でのディベート
	12月	英語セミナー(国内英語研修プログラム)(2学年英語コース)、英語セミナー(1学年英語コース登録者)
	1月	
	2月	
	3月	英国語学研修